

登録有形文化財「藤岡家住宅」夏の展示

平成29年7月1日(土)～9月26日(火)

盃

HAI 187s

盃・盃洗など所蔵資料より187点を展示

お問い合わせ・NPO法人うちの館（やかた）

〒637-0016 奈良県五條市近内町 526 ・ ☎ & FAX 0747 (22) 4013

午前9時から午後4時。月曜休館・月曜が祝日のときは開館して翌日休館

高校生以上 300円・小・中学生 200円・20名以上 2割引

info@uchinono-yakata.com

<http://www.uchinono-yakata.com>

登録有形文化財

「藤岡家住宅」

2017 夏の展示

盃 HAI・藤岡家所蔵の 187 点

藤岡家所の所蔵する盃の多くは、母屋厨子 2 階に収蔵されていました。江戸時代～昭和の初めまでの資料で、今回はその内、187 点を展示します。

江戸時代、庄屋であり、薬商・両替商などを営んでいたであった藤岡家には、什器類の種類や数量が豊富です。

明治時代の当主藤岡長二郎氏（安政元年/ 1854 年～昭和 8 年/1933 年）が大正元年（1912 年）12 月、宇智郡図書館に 25 円を寄附して贈られた記念の盃や、大正 7 年（1918 年）8 月、米騒動の際に北宇智村へ 86 円を寄付したことによって当時の（第 12 代）奈良県知事・木田川奎彦より贈られた盃など、褒美の盃が大切に保管されています。長二郎氏はまた、26 歳より堺県の種類醸造検査員を務めていたため、酒造会社の名入り盃があります。五條の地酒、山本本家酒造の「松之友」の盃と徳利や、南方熊楠の生家の酒「世界一統」の盃なども興味深い資料です。

昭和 4 年（1929 年）、長二郎氏とナラミツ夫妻の金婚記念には金杯を作っています。この時、与謝野寛、晶子夫妻から祝いの歌を詠んだ扇面（晶子筆）が贈られ、これらは軸装及び額装の上、内蔵内に保管されていました。藤岡長和（明治 21 年/ 1888 年～昭和 41 年/1966 年）は、内務官僚（佐賀県・和歌山県・熊本県知事を歴任）を務め、「ホトトギス」派の俳人（俳号・玉骨）としても活躍しました。官僚時代には熊本県世継神社、阿蘇神社、佐賀県岳神社参道改修記念（昭和 8 年/1933 年）、新潟県白山神社改築記念（昭和 7 年/ 1932 年）などの盃や、徳島県・那賀川橋の開通記念（昭和 3 年/1928 年）、京津国道竣工記念（昭和 8 年/1933 年）の盃などがあります。戦前の日本の一つの形を物語る資料です。

昭和 37 年（1962 年）3 月 27 日には奈良県文化賞を受賞していますが、受賞の額には「句風は恩賀で清澄さをたもち、現在県下俳壇にあって指導的立場にあるばかりか、本県文化の振興に寄与するところは大きい」という文言と共に、銀の盃がはめ込まれています。

純銀の盃や、七宝焼きの盃洗、錫製の盃洗、能人形を描いた薩摩焼の盃 16 点（大正元年/1912 年製）、近江の風景を描いた蒔絵の組盃は、粟津の晴嵐、堅田の落雁、唐崎の夜雨、石山の秋月、三井の晩鐘を江戸時代前半かと思われる模式的な様式で表現しています。藤岡家住宅・貴賓の間の襖絵「琵琶湖八勝景」（嘉永 6 年 百丈画）と比較して鑑賞していただければと思います。第 16 代永楽善五郎作の黄交趾（きこうし）焼き、九谷焼の毛筆細字技法を用いた盃、高砂の謡を書いた盃なども展示します。

一屋の庄屋屋敷に残されていた「盃」という小さな世界に、各時代の世相や文化を見ていただければ幸いです。



酒造所名入りの盃



七宝焼き花鳥文様盃洗
乾山伝七作



錫盃洗



岳神社参道改修記念
根曳の松盃 昭和 8 年



薩摩焼 能人形盃



近江風景盃

堅田の落雁（冬）満月寺、浮御堂、芦原、菖田、湖西の山並み。芦原に舞い降りる雁の連なり。

粟津の晴嵐（春）東海道の松並木、膳所城、湖面の帆影、白波たつ湖面、粟津原の集落。湖上の嵐で霧が払われ、現れる緑の松並木。

唐崎の夜雨（夏）唐崎の老松、唐崎神社、夜の雨音。

三井の晩鐘（春）園城寺鐘楼、金堂、観音堂、長等桜など

石山の秋月（秋）石山寺伽藍山にのぼる中秋の名月、石山寺本堂（源氏の間）、多宝塔、月見亭、紅葉など。

アクセス

藤岡家住宅へは JR 和歌山線北宇智駅から徒歩 20 分
国道 24 号線からは住川町交差点を北へ

